

垂井町立北中学校で防災講座を行いました

令和8年7月14日（火）、垂井町立北中学校で1年生51名に防災講座を行いました。学校の近くには相川が流れています。この学校での講座は今回で2年目となります。

講座では、垂井町でも被害のあった伊勢湾台風を始め、今年で50年の節目を迎える9.12豪雨災害など過去の水害や線状降水帯、新たな防災気象情報について学習しました。垂井町では伊勢湾台風の1ヶ月後にも大雨が降り、相川の堤防が決壊して大きな被害が発生しています。

また、VRによる浸水疑似体験や伊勢湾台風A I 語り部との対話体験、水防災A I カードクイズ、ペットボトルを使った竜巻・雲をつくる実験を行いました。A I 語り部との対話体験では「どれぐらいの人が亡くなりましたか？」「雨は何時間降っていましたか？」「避難所では何を食べていましたか？」などの質問をしたり、防災クイズを通して、伊勢湾台風や避難・事前の備えについての理解を深めました。

生徒からは「A I 語り部は伊勢湾台風のことだけでなく、避難についても教えてくれた。」「情報をしっかり集めて、事前に準備し、災害に備えたい。」などの感想がありました。

今回の講座が、生徒たちの防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。

